

**2017年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修  
実践編『ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム』アンケート集計結果**

開催日時：2017年11月25日（土）～26日（日）

開催場所：東京医科歯科大学（東京都）

**【属性】**

参加者：56名（うち女性53名、男性3名）

年齢：20歳代5名 30歳代10名 40歳代31名 50歳代9名 60歳代0名  
無記名1名

職種：看護師55名 無記名1名

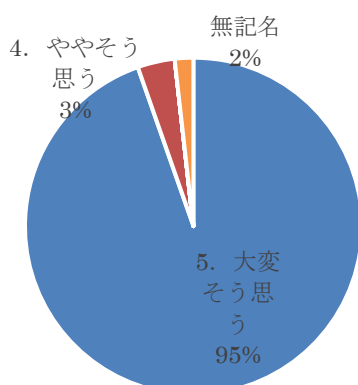
職場：一般病床34名 療養病床3名 回復期リハビリテーション病床1名  
介護老人保健施設0名 特別養護老人ホーム0名 訪問看護ステーション1名  
教育機関16名 無記名1名

職位：スタッフ22名 主任19名 師長9名 部長0名 無記名6名

看護師経験：5年未満1名 5～10年未満4名 10～20年未満18名  
20年以上32名 無記名1名

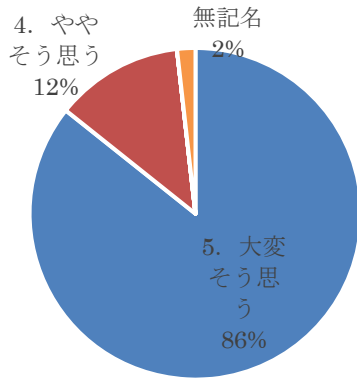
高齢者ケア経験：3年未満2名 3～5年未満4名 5～10年未満6名  
10～20年25名 20年以上16名 無記名3名

**I. 本プログラムを受講して、高齢者の‘エンド・オブ・ライフ・ケア’の重要性が理解できましたか。**



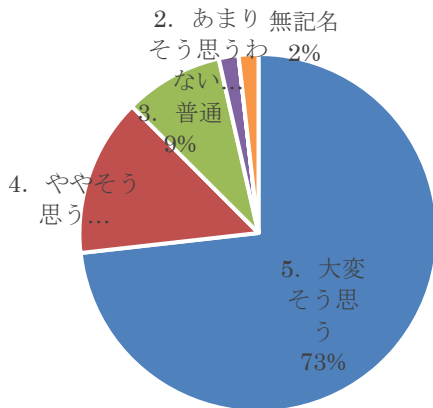
5. 大変そう思う	53名
4. ややそう思う	2名
3. 普通	0名
2. あまり思わない	0名
1. 全くそう思わない	0名
無記入	1名

II. 本プログラムの内容は、あなたの期待をどの程度満たしましたか。



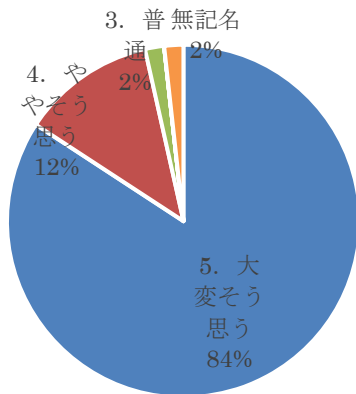
5. 大変満足した	48名
4. やや満足した	7名
3. 普通	0名
2. あまり満足していない	0名
1. 全く満足していない	0名
無記入	1名

III. 本プログラムの内容は、あなたの職場の高齢者のエンド・オブ・ライフケアの状況に合っていると思いますか。



5. 大変そう思う	41名
4. ややそう思う	8名
3. 普通	5名
2. あまり思わない	1名
1. 全く思わない	0名
無記入	1名

IV. 本プログラムの内容を、あなたの職場で活用していきたいと思いますか。



5. 大変そう思う	47名
4. ややそう思う	7名
3. 普通	1名
2. あまり思わない	0名
1. 全く思わない	0名
無記入	1名

## V. プログラム全体や配布資料についてなど、ご意見・ご感想をお聞かせください。

### 【プログラムに関して】

- ・急性期病院では難しいこともあるが、急性期病院だからこそ、高齢者の特性・思い、家族の思いを考え、治療のみ優先するのではなく、ケアを行っていく必要があることを再確認できました。
- ・高齢者にとっての最善のケア・治療について悩むことが多くあります。これまでの看護、今行っていること、自分自身の考え方や価値観、倫理感など振り返ることから始めようと思いました。
- ・他の方の考え方や現状などが聞けて勉強になった。毎日のケアやコミュニケーションを一つ一つ丁寧に大切にしていき、今日学んだことを照らし合わせて深めていきたいと思いました。
- ・講師の方々の実際に取り組みされている事例をたくさん聞くことができ、イメージがとてもしやすかった。グループワークを通して、様々な人たちの意見を聴くことで、価値観の多様性に気付いた。このような学びを少しでも高齢者ケアに反映できるように毎日のケアを大切にしていきたい。
- ・2日間のプログラムを終えて、普段モヤモヤしていたことがすっきりしました。
- ・講師の方々の貴重なご経験もとても学びになりましたし、普段自分がやっているケアを言語化して裏付けてもらったような、とても元氣と勇気を頂きました。グループワーク、ロールプレイも、構成が素晴らしかったです。
- ・外来で働いていて、非がんの高齢者に EOL の話をすることが難しいと感じていた。講義を聞いて本人の望む生き方を確認することの大切さを再認識した。そのために何ができるのかを考えたとき、ナラティブストーリーを聞くことが大切ではと意見が出て同感しました。普段から患者さんの一言一言に耳を傾けてコミュニケーションができればと思いました。

### 【資料に関して】

- ・講義資料、付録の文献リストを手元に置き、活用していきます。
- ・資料はカラーが良かったです。
- ・高齢者特有の記載部分にアンダーラインを引く等あるともっと分かり易いかと思いました。

### 【その他】

- ・老年看護学会には簡単には入れないと思っていましたが、今回入会のお話をいただけて良かったです。
- ・ファシリテーションの方法が参考になりました。意見・アドバイスが素晴らしかった。
- ・このようなプログラムをもう少し回数多く、気軽に受講できるようになるとよいと思います。

文責：有馬温泉病院 西山みどり